

# 常任委員会

## こんなことを聞きました

3部会へ徹底調査

### 常任委員会とは？

その部門に属する町の事務に関する調査を行い、また、議案、請願・陳情等を審査します。本町議会では、3常任委員会に分かれています。

#### 総務委員会

総合計画、財政、税務、庁舎管理、交通安全、防災、防犯力メテ啓発、広報、コミュニティ、選挙等に関する事

#### 文教厚生委員会

学校教育、保育園、生涯学習スポーツ、図書館、健康、高齢者・障がい福祉、保険・年金等に関する事

#### 経済建設委員会

道路、河川、バス、防犯灯、ごみ、環境、農業、消費生活、観光、建築、都市計画、公園、上下水道、戸籍等に関する事

## 文教厚生委員会

**A** 保育士がコロナに感染、または濃厚接触者になり欠勤したことが多々あった。欠勤者の業務を他の保育士が補ったことにより、増額となった。

### 令和4年度一般会計決算 安心安全な保育園運営へ

**Q** 保育所生活安全指導員<sup>①</sup>配置事業委託料の内訳と今後の展望は。

**A** 単価契約で総回数1847回、422万5936円。週5回保育園へ配置。今後、施設管理内容や所要時間を把握し、委託内容等をシルバー人材センターと相談していく。

**Q** 前年度に比べ、保育士の時間外勤務手当が増額となった理由は。

保育園のメリットは、園日より等のアプリ配信に伴い、印刷・配布等業務の負担軽減や欠席連絡がアプリ

**Q** 子育て支援システムの登録率は。システムの導入における保育士と保護者のメリットは。

**A** 子育て支援システム「きずなネット」の登録率は、令和5年3月末時点で99・49%（児童1人につき両親等複数の登録が可能）。

保育園のメリットは、園日より等の

連絡となり、保育士の電話対応時間が大幅に削減された。

保護者側のメリットは、欠席連絡がアプリで可能となり、園への電話が繋がらない等ストレスからの解放と適宜の連絡が可能となった。



### 各種検診、受診率向上へ

町広報紙や町ホームページ等でがん検診等の種類・対象者・料金・検査方法を掲載、発信。保健センター等町内施設に日程表を設置している。

**Q** 町ホームページで「がん検診・めがせ受診率50%超」と啓発しているが、本町の受診率は。

**A** 受診率50%は、会社等職域での検診を含めた国が示す目標を表示したもので、本町では全体の受診率は把握していない。

**Q** 町広報紙や町ホームページに「がん検診のお知らせ」は掲載されているが、これらで確認できない高齢者等の町民への検診案内は。

**A** 保健センターのほか、役場等町内施設に日程表を設置している。

**Q** 受診率の高い肺がん検診の実施方法等は。

**A** 住民健康検診として、保健センターのほか各地区コミュニティセンター等14カ所で開催している。

**Q** がん検診無料フリーボン券の対象者と周知方法は。

**A** 国の子育て支援の一環として、子宮頸がんは20歳の女性、乳がん検診は40歳の女性を対象とし、大腸がん検診は、本町独自に40歳の男女を対象としている。いずれも対象者にフリーボン券を郵送して周知を図っている。



①保育所生活安全指導員…不審者の侵入対策や簡易な草刈り・剪定等の環境整備のために配置されている。

令和4年度一般会計決算

デジタル化への取り組み

フィックスマイストリートの投稿

町内の道路や水路の破損、公園管理等に関する地域課題を、スマートフォンを通して手軽に投稿できる無料アプリ。

実績と内訳、総合的な評価は。

A 計139件あり、そのうち道路95件、防犯27件、水路と公園はそれぞれ7件、動物2件、ごみ1件であった。全体の約7割が平日時間外や休日日の投稿で、いつでも投稿が行えるという面で住民の利便性は高い事業である。

Aー総合サービスの改善へ

役場の手続きや制度への問い合わせにAーが対話形式で24時間365日対応することで、住民サービスの向上や業務効率化につなげる目的で2年度から始めている。本町では「おだいちゃん」がAーに変身している。

実績と評価は。

A 3年度の7259件に比べ4年度は2892件となった。思うような回答にたどり着かないという声は

認識している。今後、公式「Z」等の活用方法の見直し等改善策を検討していく。

新生活支援

新たに三世代で同居または近居するための住宅取得費や新生活のスタートアップ費用を補助している。

三世代近居等補助金と結婚新生活支援事業費補助金の効果は。

A 三世代近居等補助金では、42人が町外から転入し、定住の促進が図られた。結婚新生活支援費補助金では、利用者の96.5%が、新生活の経済的不安の軽減に役立ったと回答。



自主防災会①活動を促進

自主防災会活動費補助制度の周知と今後の展望は。

A 令和4年度からの新規事業であり昨年度申請がなかった自主防災会には制度活用の説明をし、自主防災

会の会議を通じて組織の自立・活性化につなげるよう取り組む。

感震ブレイカー設置費補助終了

震災時の被害で大きな割合を占める地震火災の発生を抑えるため、揺れを感じし電気を遮断する感震ブレイカーの設置を啓発、補助を行っていた。

補助金の実績と制度が終了した理由は。

A 交付実績は4年度6件で、運用開始の平成28年度からの総件数は255件である。簡易タイプの感震ブレイカーが設置できない仕様の分電盤が流通し始めたこと、ブレイカーを切るという避難行動の啓発が浸透したこと、また申請件数が年々減少していること等から制度を終了した。



▲備えて安心感震ブレイカー(補助は終了)

役場からの郵便物の量は

郵送料を減らすため、メール等で経費を削減する考えは。

A 「Z」登録によるお知らせ配信等の検討を進め、各課で事業の用途や目的に応じ、取り組んでいくものと考えている。今後は、各課の取り組みを情報共有していきたい。

電話交換業務委託事業

委託先と業務内容は。

A 委託先は「コニックス株式会社」。業務内容は2人体制での電話交換業務で、開庁日の午前8時20分から午後5時20分まで。またダイヤルイン方式の採用は検討していきたい。

町職員の自己都合退職者

自己都合退職者の離職率が、近隣10市町と比較し一番高いが見解は。

A 本町は愛知県内で職員の平均年齢が最も若く、自身のキャリアプランを考えた転職、結婚、育児の機会にライフプランを考える職員が多いと思われる。



①自主防災会…地域住民が「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識に基づき結成する防災組織  
②ダイヤルイン…1つの電話回線で複数の番号を取得できるサービス。部署ごとに番号を取得すれば直通で迅速な電話対応ができる。



令和4年度一般会計決算

住民課窓口の待ち時間について

**Q** 手続きの列が長い時があるが、対応職員等の人数は足りているか。  
**A** 窓口に対する職員数は足りているが、マイナンバーカードの新規交付等で窓口の数が足りず一時期多くの待ち時間が発生した。

**Q** マイナンバーカードの手続き業務で改善したことは。  
**A** カード申請希望者向けに①申請サポートはロビー特設コーナー、②カード交付は住民課窓口、③マイナンバーポイントは役場3階特設コーナーの3つの動線に分けて待ち時間が少なくなるよう務めた。



キャッシュレス決済  
ポイント還元事業

町内小売業等事業者の経営支援と

キャッシュレス化を推進し、将来への事業展開を促進するため、令和4年11月にPayPay利用者を対象に1カ月実施した。

**Q** 経営支援の効果はどうだったか。  
**A** 決済額4億5千万円程度と見込んでいたが、総額は5億4千万円程度と目標を大きく上回り経済効果は大きかったと考える。

**Q** キャッシュレス化に向けて把握している事は。  
**A** 事業者向けアンケートでは、キャッシュレス決済が増えたとの回答が多かった。また、高齢者向けの講座を行い、キャッシュレス決済に慣れ、キャッシュレス化が進んでいると感じる。

**東浦町下水道事業会計決算**  
**Q** 不明水の発生原因は。  
**A** 断定はできないが、管の老朽化により雨水等が侵入したことが原因と考えられる。

**Q** 不明水の発生での影響額は。  
**A** 1450万円程。

**Q** 令和3年度と比較して不明水が低下した要因は。  
**A** 老朽管の更新や更生、年間降水量の低下等が要因と考えられる。

**Q** 令和3年度と比較して不明水が低下した要因は。  
**A** 老朽管の更新や更生、年間降水量の低下等が要因と考えられる。

**Q** 令和3年度と比較して不明水が低下した要因は。  
**A** 老朽管の更新や更生、年間降水量の低下等が要因と考えられる。

①不明水…下水道污水管に、流入する雨水や地下水。大雨時に不明水が入ると、排水能力を超えマンホールから污水が溢れたり、宅地排水管に逆流し、お風呂やトイレ等が溢れたりする。

議会トピックス  
GIKAI TOPICS  
定例会だけじゃない！  
議会の動き

8/9 水 よりよい議会だよりを目指して  
 議会広報特別委員会で県町村議会広報研修会に参加し、本町議会だよりの課題・改善策を提案いただきました。皆様に親しまれる議会だよりを目指して、研さんしてまいります。



7/26 水 ようこそ！東浦町議会へ！  
 兵庫県豊岡市議会および長崎県諫早市議会が議会だよりを編集する議会広報特別委員会を視察するために来庁されました。  
 委員がスライド等を使用して議会だよりの編集方針をはじめ、編集方法や発行について丁寧に説明しました。また、質疑応答の中では「聴かせて！ひがしうら好きですか？」の取り組み等について、活発な意見交換がなされました。